



読者のみなさまの声を紹介します。
ありがとうございます。

●リフォーム術——家中段差ばかりで、将来リフォームしたいので、記事は参考になりました。リフォーム減税制度など、初めて知ることも多かったです。とてもわかりやすく説明してありがとうございました。

(大阪府・じゅんさん)

●草野仁さんの「お金は貯めるために稼ぐのではなく、使うべきときには惜しまずにきちんと使う」という姿勢に同感です。なかなか出来ることではありませんが、普段から心がけたいものです。

(新潟県・アスパラさん)

●そこが知りたい！くらしの金融知識は一番に読みます。とても参考になります。これからも生活の知恵をささげて下さい。

(静岡県・カケガワさん)

●草野さんのインタビューでお父様の教育の仕方が印象的でした。こんな教育されてみたいと思わず感じました。また、いろんな人との出会いがいかに重要か考えさせられました。

(東京都・ばんださん)

●定年まであと数年となり、老後は上手にお金を使いたいと感じるこの頃です。金融・経済について、勉強しなくてはと思います。

(茨城県・さつちゃんさん)

●読み応えがあります。巻頭インタビューは、じっくりとした人生の重みを感じる方ばかりで、その人選には敬服しています。「金融教育の現場レポート」は、地道に取り組む教育現場の取り組みがわかり、キラリと光る記事でした。毎回心待ちにしています。

(茨城県・きょうちゃんさん)

●草野仁さんのインタビューを読んで、ハツとしました。私は今、やりたい仕事についているわけではなく、不本意な気持ちで仕事をしている状態で、転職も考えました。草野さんも望んでいた仕事をはじめからできたわけではなかったんですね。不本意な状況においても何ができるか懸命に考え、工夫を重ね真摯に取り組んだからこそ、やりたかった以上に仕事の充実感を手に入れているのがうらやましく思っています。私も、もう一度考えてみたいと思います。

(秋田県・志さん)

知るぽるとクイズ

以下のヒントをもとに故事ことわざなどを考えてみてください。一番最初の文字をつなげると、本誌に登場した印象的な言葉が浮かび上がってきますよ。さて何でしょうか？

ヒント

- A. 本当によく似ています
- B. 幼いころからの仲です
- C. 自分の好きなことをして自由に暮らしましょう
- D. すごいものを作ろう!

A.			フ	タ	ツ			
B.				ノ	ト	モ		
C.					ジ	テ	キ	
D.				ヨ	リ	ヲ	カ	ケル

※答えは次号掲載

●前号の答え

バリアフリー

高齢化の進展に伴い、新しいサービスや仕組み、制度などが整備されています。これらの中から必要なものや、利用可能なものについて、普段から情報を集めておくことが大切です。

おたより募集中

「くらし塾 きんゆう塾」では、皆さまからのおたよりを募集します。クイズにお答えいただいた上で、下記宛先までお送りください。2014年2月28日までにご意見をくださった方の中から、抽選で10名の方に、「日めくりカレンダー」をプレゼントいたします。また、おたよりを本誌に掲載させていただいた方には、「知るぽると特製ボールペン* & メモ帳」をプレゼントいたします。

※使い終わった紙幣の裁断片が入っています。

●記入していただきたいこと

- ①本号で面白かった記事
- ②本号で「もう工夫ほしい」と思った記事
- ③今後、取り上げてほしいと思うテーマ
- ④一言ご感想
- ⑤この広報誌を知ったきっかけまたは場所
- ⑥知るぽるとクイズの答(左記参照)
- ⑦ご住所・お名前・電話番号
- ⑧「読者のおたよりコーナー」への掲載希望の有無/掲載するに当たり、本名ではなくペンネームをご希望の場合はペンネーム

※いただいた個人情報は、プレゼントの発送、誌面への掲載に関してのご連絡についてのみ、使用させていただきます。

●宛先

郵送 : 〒103-8660 東京都中央区日本橋本石町2-1-1
日本銀行情報サービス局内
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛

メール : info@saveinfo.or.jp

FAX : 03-3510-1373
金融広報中央委員会「くらし塾 きんゆう塾」担当宛